

2013年夏合宿 八ヶ岳地獄谷本谷

L 谷内 朝倉 倉澤 村上 宮坂 矢島

新しいメンバーを迎え、4年前と同じコースをたどる合宿であったが、思いがけないアクシデント有り、ルートの見失い有り等、改めて課題を認識させられた山行だった。反面、若手の元気なパワーに助けられ果敢な挑戦があったり、難所をクリア出来たりと頼もしさが実感できた合宿でもあった。

8 / 10 地獄谷本谷

茅野発 5:00 ~ 美しの森 P 発 6:05 ~ テン場 (出合小屋) 着 8:05 ~ 遡行開始 9:10 ~ キレット小屋着 13:30 ~ ツルネ東稜下降 ~ テン場帰着 16:10

天気は上々。水もそれほど冷たくはない。遡行を開始してほどなく笛の合図で待機すると、リーダーが足を痛めたのでリタイアとのこと。一抹の不安を感じながらも気を引き締めて続行となる。小さな滝が連続して現れる。30mの大滝は通過できないはずだが、段になっているので下から先が見えず、これがそうなの？と取り付いてみるが、やはり巨大なチョックストーンが頭上に立ちはだかり、宮坂さんが慎重に挑戦するも「これは無理！」と懸垂下降で全員滝の下に戻る。この高巻きが結構難関で何とか通過するとナメ床や小滝が続く、楽しむことができる。沢は前回より荒れている感じで、鹿の亡骸があり鹿でも滑落するようなどころなのか？と変に納得する。

無事、キレット小屋の水場に到着。ベンチで沢靴を履き替えてツルネの頭を目指す。暑さも有りきつい登りとなる。稜線上に広がるコマクサのお花畑は、時期が少々遅かったらしく花びらの変色が見られて残念だった。

ここからツルネ東稜の長い下りになる。東稜への分岐を無事に確認し、ひたすら下る。テン場に着くと、先行の谷内さんが夕食の用意を全て終えていて、さあ、召し上がれと言わんばかりで天国のような気分。本来なら参加予定のメンバーの分もあったので、豊富な食料と焚き火を囲んで長い夜を楽しんだのでした。

8 / 11 天狗尾根

テン場発 5:30 ~ 尾根取付き 6:30 ~ 小岩峰 ~ 大天狗 ~ 戻ってカニのはさみを下り
大休止 12:10 ~ 天狗尾根下山 ~ テン場着 14:50 ~ 美しの森 P 着 17:10

天狗尾根取付きの目印を見落としたりと、行き過ぎたようで一旦下る。赤いテープがいくつも下がっているのを確認してから尾根への踏み跡をたどる。ササの茂ったわかりにくい急登を過ぎ、樹林の中の長い尾根道を進む。やがて大天狗の威容が見え、カニのはさみのような形をした2本の突き出た岩を巻くといよいよ本日の核心部となる。トラバースルートが右手にあるはずと思うのだが、途中で切れて登れないということで行きつ戻りつした挙句、直登する。

本来はそのまま右手に登ればよかったらしいが、垂直に切れ落ちた岩場を左に巻き、前回こんな所を登った記憶がなく、これ以上は無理ということでもう一度ロープを出

してもらって下る。下りのほうがスリル満点でさらに大変だったが、宮坂さんが大奮闘してロープを張ってくれたので、何とか全員無事通過することができた。岩に張り付いて待機する間にも花がいっぱい目に着いたが、カメラを取り出す余裕は全くなかったので残念。時間的にもツルネを回すことは無理と判断して、そのまま天狗尾根を下降する。振り返ると大きな岩峰がそびえていて、よくぞあんな所をうろちょろしてきたものだと胸をなでおろした。

結果的には敗退ということになるが、年々体力の衰えを実感するなか、若者に混じってこんな山を体験させてもらって、ほんとに有難いことだと思う。お世話になりました。